

令和4年3月
鳥栖市教育委員会
定例会議事録

鳥栖市教育委員会

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 3 月定例会

2 開 催 日 時

令和 4 年 3 月 9 日（水） 8 時 30 分開会 9 時 28 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤教育長職務代理者(委員)、吉原委員、戸田委員、佐々木委員

6 出席事務局職員

小柳教育部長、青木教育部次長兼教育総務課長、中島学校教育課長、犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長、松隈生涯学習課長兼図書館長、日吉学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事、井手学校教育課参事兼教育指導係長兼指導主事、立石学校給食課参事兼課長補佐兼係長、竹下生涯学習課参事、久山生涯学習課長補佐、豊増生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、城島教育総務課総務係長、長野学校教育課インクルーシブ教育推進係長、島生涯学習課文化財係長、中溝生涯学習課図書係長

7 傍 聴

0 人

8 経 過 報 告

2 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

2 月定例会の議事録承認

【承認】

3 月臨時会の議事録承認

【承認】

10 議 案

議案第 7 号 教育プランの改正について

【承認】

11 協議報告事項

- (1) 鳥栖市立小中学校学校現場の業務改善計画について
- (2) 鳥栖市立中学校の新標準服について
- (3) 鳥栖市教育支援センターの設置について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会 4 月定例会 令和 4 年 4 月 1 3 日（水）9 時 00 分から

○天野教育長

皆さんおはようございます。本日は3月市議会定例会の一般質問2日目ということで、早朝よりご出席いただきまして誠にありがとうございます。3月1日は教育委員会臨時会を実施しまして、同日に戸田委員には、鳥栖工業高等学校の卒業証書授与式に行ってください、本当にありがとうございました。また、3月11日の中学校と18日の小学校の、卒業証書授与式を行いますので、委員の皆様にはよろしくお願いしたいと思っております。3月6日を以って、県内の蔓延防止等重点措置は解除されましたが、昨日の県内感染者数は407名、鳥栖市内32名ということで、感染者数がなかなか減らない状況です。昨日、田代小学校の特別支援学級1教室が学級閉鎖しましたので、本日で2クラスが学級閉鎖している状況でございます。県立の高校入試は昨日と今日で2日間実施されましたが、天気にも恵まれていますので、無事に終わってくれることだと思っております。人事異動に関する整理はほぼ終わりまして、一般教職員の内示が17日の木曜日となっています。学校教育課長には東奔西走で頑張ってくださいていますけれども、非常に欠員も多く、なかなか人がいないという厳しい状況ですので、何か情報がありましたらよろしくお願いしたいと思っております。

それでは、ただいまより教育委員会3月定例会を始めます。最初に経過報告をお願いします。

○青木教育部次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

経過報告、行事について何かご質問等ありましたらお願いいたします。無いようでしたら、次に行きます。議事録承認については、お手元にありますように2月定例会と3月臨時会の分を別冊でまとめていただいておりますので、何かありましたら事務局の方をお願いしたいと思います。

続きまして、議案第7号 教育プランの改正について説明をお願いします。

○青木教育部次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

ありがとうございました。今回の教育プランにつきましては、2月定例教育委員会でご説明しました新しい取り組みや事業について盛り込んだ上で、内容を新しくさせていただいております。教育プラン表紙もタブレットを使う子供たちの様子を掲載するなどして、見た目も変更しています。委員の皆さんからご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

○戸田委員

教育プラン15Pで記載しています、「歴史・文化交流発信施設整備の検討」というのは、今回新しく出てきた話でしょうか。

○久山生涯学習課課長補佐

前回の定例教育委員会での令和4年度予算案にてご説明させていただいたところですが、具体的に申し上げますと、鳥栖市の歴史的文化資産紹介を目的とした、サンメッセ1階ミニシアターの改修工事についてです。

○吉原委員

教育プラン13Pの鳥栖北小学校なかよし会B・Cクラス新設工事について、新設クラスの受入れ人数など具体的な内容について教えてください。

○松隈生涯学習課長兼図書館長

現在のAクラス南側部分に隣接してB・Cクラスを建設する予定です。B・Cクラスの受入れ人数は概ね100名程度で、それに見合う十分な広さと指導員の休憩室などを設け、バリアフリーに配慮した建築物を予定しています。構造は軽量鉄骨造の平屋建になります。

○吉原委員

教育プラン7Pに「医療的ケア児に対して、看護師を派遣して適切な支援を行います。」と記載されていますが、看護師を派遣するに当たって、こういった条件で派遣・支援されるのか教えてください。日常的な支援なのか、突発的な状況に対する支援なのか、もう少し具体的に教えていただければと思います。

○長野学校教育課インクルーシブ教育推進係長

医療的ケア児への支援につきましては、本年度まで保護者自身が契約した事業所から看護師が派遣され、それら費用に対して補助金をお支払いしていました。来年度につきましては、本市と事業所が契約を行い、本市と契約した看護師が学校へ派遣される内容となっております。実際の派遣状況につきましては、主治医の指示書に基づいた医療的ケアを看護師が行い、酸素管理が必要なお子様がいらっしゃるのですので、1日約1時間程度の定期的な支援を行うよう準備しております。今回こういう形に変わりましたのは、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が昨年9月に施行されたことに伴い、医療的ケア児への支援は学校設置者である地方公共団体の「責務」となりましたことから、このような形にさせていただいております。

○古澤委員

5Pの「学習指導要領への対応充実」について、3つの項目を重点的に指導することが明記されており、これらは先生方の日々の指導に直接関係する部分かと思いますが、学校教育課はこれら3項目の実現に向けて思い描いているイメージ図、内容について教えていただきたいのと、現場の先生方がこれら3つの項目についてどう意識されているのか、分かればお願いします。

○日吉学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

これら3つの観点については、学習評価、そして授業づくりへとつながっていくことになります。小学校は昨年度から全面的に実施、そして中学校は今年度から全面実施ということで、校内研の研究部を中心に前年度から準備を進めてきたところではあります。これまでの授業から大きく変わるというよりは、授業づくりや評価の見方、視点を変えていくことが一つあります。ただし、中学校においては、先生がペーパーに偏った評価方法から変えていけるよう、各学校における実践例の紹介も含めて研究を進めているところなので、時間は少々かかってしまうと思いますが、これらを踏まえた上で、学校教育課としては指導を続けていきたいと考えております。

○天野教育長

先ほどの3つの観点を踏まえた上で授業づくりを考えていくのですが、12月に実施しました県の学習状況調査を確認しますと、4年生から6年生にかけて算数の成

績が落ち込んでいます。この結果について考察しますと、限られた時間で授業を実施しなければなりませんので、思考・判断力を養うような授業内容が少なかったことが原因ではないかと考えています。この結果に対して、県も反省をしているようでした。知識・理解型の授業だけでなく、空き時間に応じて表現、思考力、判断力を培っていく授業や、人間性や学習意欲を養っていく授業を組み込むことが大事だと思いますので、これからも指導していきたいと思っております。

○佐々木委員

おはようございます。前回の定例教育委員会でご説明いただいた来年度の予算等について、今回の教育プランで各課の具体的な取組を記載されているようですので、これら取組について、ぜひ実践していただければと思います。

○天野教育長

ありがとうございます。教育プラン6 Pに記載しています若葉小学校が「令和4・5年度一人1台端末を活用した授業改善研究指定校」として、指定を受けることが出来ました。また、田代中学校が「令和4年度佐賀県研究指定校事業（外国語教育）」を受けることとなります。続いて7 Pに記載しています鳥栖中学校区が佐賀県教育委員会指定での「令和4年度人権教育研究推進事業」を受けることになっております。今年から鳥栖市内の複数の学校が地域指定を受けることになりましたので、教育プランに示したうえで、しっかりと学校支援を行っていき、鳥栖市の教育へ生かしたいと思っております。それでは議案第7号教育プランの改正についてご承認いただくということによろしいでしょうか。

○各委員

はい。

○天野教育長

ありがとうございます。それでは協議報告事項に入ります。最初に、鳥栖市立小中学校学校現場の業務改善計画について説明をお願いいたします。

○中島学校教育課長

（資料に基づき説明）

○天野教育長

先ほど説明のとおり、勤務時間の縮減に向けて取り組み、校長等の期末面談にて働き方改革について話をする中で、「定時退勤が守られるようになってきた」、「職員も勤務時間内に業務を終えることが出来るよう意識が変わってきている」という話を聞くのですが、仕事の持ち帰りなど、まだ様々な課題が残っている状況ですので、今後もしっかり取り組んでいきたいと思っております。今回の業務改善計画について何かご質問等ありますでしょうか。

○古澤委員

この数年間の取組みが、時間外勤務の実績に現れていることは分かりましたが、小学校と中学校の平均時間が出ていますけど、その中でひょっとしたら、職員間で個人差があるのではないかと懸念があります。特に部活動がある中学校の職員になると、それがより顕著になっているのではないかと思います。課長の説明の中でも、国の方針を受けて可能な限り対応するという説明がありましたが、本当に踏み込んでいかないと、目標である年間上限360時間以内を達成できないと思いますので、課題に対して具体的にどういった案をお持ちかどうか教えてください。そし

て、これら取り組みに対して、保護者の方から反発を買う懸念があるため、学校行事の見直しなどなかなか手を出せないという部分があると思いますけど、考えがあればお聞かせください。

○中島学校教育課長

ご指摘のとおり、特定の先生に非常に偏った部分というのは実際ございます。各学校の時間外勤務の集計時間は毎月教育委員会へ報告していただいております。その中には、職員毎の時間外勤務時間数も含まれていますので、当然、各学校の校長先生達も実態を把握されていると思います。そして、特定の先生が毎月80時間以上、中には100時間以上勤務されている方もいらっしゃいますので、そういった先生方については個別に理由を調査し、学校として改善できるところがないか方法を探っていただくよう校長先生に話をしているところでございます。特定の先生に負担が偏っていれば、他の先生に振り分けるなど、各学校改善に向けて取り組んでいるところでございます。保護者については、コミュニティースクールを生かしながら、学校の実像や課題を含めて発信しつつ、地域に対してご理解とご協力を求めながら実施していくしかないかと思っているところです。

○古澤委員

分かりました。通常、時間外勤務を行う場合は事前申請を行い、許可された場合が対価として時間外手当をいただくという流れが一般的だと思います。しかし、先生の場合は、一定割合の手当が付与されているので、時間外勤務を行ってもそれに見合ったプラスアルファの手当がもらえるわけではないので、今後、踏み込める分については、しっかりと縮減に向けて取り組んでいかないと、中々変わらないと思いますので、今後もしよろしく願いいたします。

○天野教育長

ありがとうございます。他にご質問等ありますでしょうか。無いようでしたら、次に行きます。鳥栖市立中学校の新標準服について説明をお願いします。

○日吉学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

(資料に基づき説明)

○天野教育長

何かご質問等ありましたらお願いいたします。

○佐々木委員

市内学校の制服をある程度統一化していくという一方で、スクールカラーも活かしていくというお話を聞くと矛盾しているように感じますが、もう少し詳細な説明をお願いできますか。

○日吉学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

学生服の統一は今回の基本方針でございますが、検討委員会の中で「学校ごとの色を出さなくてよいのか。」というご意見もありました。現在は、女子制服のスカートの色で4校に違いを出しています。ポケット辺りの刺繍やボタンの色で差別化を図っていくのか、メーカーからの提案も含めて、最終的に決定していきたいと思っております。また、生徒が転校した時に、色の変更のみで対応できるよう、生徒への金銭的な負担が掛かることがないよう配慮していきたいと考えております。

○古澤委員

先ほどの説明で大体分かりました。特に保護者や生徒へのアンケート結果を反映

されると思いますが、毎日学校へ来ていただいている生徒の意見が一番大きいのではないかと思います。そういった意見の取入れ方法についても工夫が必要ではないかと思います。性の多様性と標準服の見直しについては生徒の皆さんもご存知かと思いますが、そういった要望を持っている生徒に対してどのように伝える、汲み取るかが重要だと思います。例えば、自分の性についてしっかりと主張できる子もいれば、うまく主張できない子がいるなど、個人差があると思いますので、どのように対応していくのが大事だと思います。性に対して問題を抱えている生徒が着用できるよう、新標準服について今後も整理をしていただければと思います。様々な要望を聞かなければならなく、大変だとは思いますがよろしくお願いいたします。

○日吉学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

ありがとうございます、市内の例を申し上げますと、現在、田代中学校と鳥栖西中学校の女子生徒1名ずつ、男子制服を来て登校を始めたということで報告を受けております。着用に至るまでの間、まず生徒会が全校生徒に対して性の多様性に関する啓発活動を行い、理解につながるような土壌づくりを行い、それを踏まえた上で、本人と保護者との話し合いの末、着用に至ったということです。最初に鳥栖西中学校から始まり、田代中学校は鳥栖西中学校の方法を参考にし、実際に1人着用に至りました。この取組については、今後市内全体に広がっていくのではないかと考えております。検討委員会で、現在の中学2年生からアンケートを取ってありまして、アンケート結果を見てみると、男子は「今の制服が好き」、「好きではない」の割合があまり変わりありませんでした。女子は「好きではない」の割合が高い結果でした。この中には恐らく、性の多様性というところで本当はズボンを履きたいというような子どもたちが含まれている可能性があります。学校の見立てでは、スカート以外の制服を選ぶ子ども達が今後増えるのではと考えているようです。ご指摘いただいた表現できない子ども達は潜在的にいると思いますので、引き続き、啓発と指導をしていく必要があると考えております。

○天野教育長

性の多様性ということで、男女統一の制服というのが一つのポイントで進めてもらいましたけれども、子ども達からの話がきっかけで出てきた案件でしたので、これは早急に整理しなければならないと思い、拙速の感じがあったと思いますが、4つの中学校が一丸となって取り組んでおります。令和5年4月に実施するという事でまとまっておりますので、しっかりと見守っていきたいと考えております。

それでは次に行きます。鳥栖市教育支援センターの設置についてお願いします。

○井手学校教育課参事兼教育指導係長兼指導主事

(資料に基づき説明)

○天野教育長

教育支援センターの4月開設に向けて取り組んでいるところでございますが、ご意見ご質問ありましたらお願いいたします。

○佐々木委員

教育支援センターは具体的にどれぐらいまでの人数が対応可能なのでしょうか。

○井手学校教育課参事兼教育指導係長兼指導主事

現在6名の生徒が在籍してありまして、現在の状況から考えると10名程度が限界ではないかと担当指導主事から話を伺っております。佐々木委員のご指摘のとおり、

市内の不登校生徒数を考えますと、施設の収容人数として足りない部分があることは事実だと考えます。

○佐々木委員

現状、各学校に不登校の子ども達がたくさんいるわけで、その中の数名については教育支援センターを利用するという流れで進めていいと思いますが、それ以外の学校内の不登校の子ども達への対応というのは、学校でケース会議を開くなどして学級担任が対応しているのが現状だと思います。今後、不登校生徒に対して専門的アドバイスをしてくださるスクールソーシャルワーカーが入ってくださると思いますので、積極的な支援が学校間との連携につながり、学校内で解決できる場面も出てくるのではないかと考えます。

○古澤委員

先ほどの説明で、「学校復帰が最終的な目標ではない」と言われたことについて、過去に似たような意見を申し上げたことがあるのですが、とても良いことだと思います。不登校の方でも個人差があって、比較的復帰しやすい生徒もいれば、なかなか実現出来ない生徒さんもいらっしゃると思います。強引な指導方法を実施されてはいないと思いますが、内容について見直されたのは良かったのではないかと思いますところす。

○天野教育長

ありがとうございます。今回の教育支援センターの件については、「名前が変わっただけで、内容は変わっていない」と言われることがないよう取り組んでいきたいと思います。鳥栖市教育支援センター運営要綱第16条に「教育支援センターの運営に関して他機関との連携を図ることができる」という条文を入れさせていただきました。特別支援教育相談員やソーシャルワーカーの動きを踏まえて、様々な面で学校を支援していきたいと思いますので、新しく開設される教育支援センターにも頑張ってくださいと思っています。

それでは、今後の予定について説明をお願いします。

○青木教育部次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

今後の予定について、何かご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。これをもちまして、教育委員会3月定例会を閉会します。